

令和6年12月2日  
(2024年)

保護者の皆さま

吹田市立岸部第二小学校  
校長 島谷 陽子

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和6年度全国学力・学習調査」を実施し、二学期はじめに個人ごとの結果をお返ししました。また、吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語、算数に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

### 1. 教科に関する調査結果の分析

#### 国語

##### ● 概要

- ◎全体の児童の平均正答率は、全国値を上回っている。
- ◎「話すこと・聞くこと」領域は、全国値を上回っている。
- ◎記述式の問題の正答率は、全国値を下回っている。

##### ● 課題

- ◆記述式の問題で、文を構成する力や語彙力不足、また自分の考えを表現することを苦手とする児童が多い。
- ◆人物像や物語の全体像を想像すること、表現の効果を考えることは、全国値を下回ることから、「物語を読む力」を育てることが必要と考えられる。

- 今後の指導・改善点について

記述式問題に取り組む力を伸ばすために、授業では国語に限らず、自分の考えを言語化する習慣をつけ、交流することで多くの考え方を共有することに取り組んでいきます。また、目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係づけたり伝えたいことを明確にしていく力は、伝えたい相手を意識することや多様な考え方を持った友だちとともに「?!さがし→調査→つなげる→表す→伝える」の学習過程のサイクルを回していく総合的な学習・生活科の時間を有効活用することで育てていきたいと考えています。

## 算 数

- 概要

- ◎全体の児童の平均正答率は、全国値を上回っている。
- ◎「変化と関係」領域の正答率は全国値をやや上回ってはいるものの課題が見られる。

- 課題

- ◆「変化と関係」の項目に見られるように、二つのものの関係を表す・比較するということを苦手とする児童が多い。
- ◆記述式の問題では無回答も見られたことから、自分の考えを表現すること、柔軟に考えることの力を伸ばしていくことが必要と考えられる。

- 今後の指導・改善点について

総合的な学習の時間での取り組みから、「データの活用」についての力が伸び、児童の苦手意識が低くなってきていると考えられます。その強みを生かして比較する、考えを表現する力を伸ばすために、算数の授業でも取り組みます。本校では、3年生から算数の専科を配置し、学年で習熟度別授業を行っています。児童の習熟度に応じて、自分の考えを論理的に文で表す活動を取り入れたり、ペア活動で自分の考えを言語化することへの抵抗がなくせるようにしたりと児童の自分の考えを表現する力を育てていきたいと考えています。

## 2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

### 【学校生活・自分自身のことについて】

◇「先生があなたのよいところを認めてくれていると思いますか」

「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」

の質問事項へ肯定的な回答割合は、全国値を上回っている。

◆「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」

の質問項目へ肯定的な回答割合は全国値を下回っている。

### 【学習状況について】

◇「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問事項へ肯定的な回答割合は、全国値を上回っている。

「算数・理科の勉強は好き」と回答した児童は全国値を上回っている。

「国語・算数・理科・英語の勉強は大切だ」と回答した児童は、全国値とほぼ同じ、もしくは上回っている。

◆「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の質問項目へ肯定的な回答割合は全国値を下回っている。

「学習の中で ICT 機器を活用して自分のペースで理解しながら学習をすすめることができますか」

「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表できましたか」の質問事項へ肯定的な回答割合は全国値をやや下回っている。

「国語・英語の勉強は好き」と回答した児童は、全国値を下回っている。

### 【家庭生活・家庭学習・地域・社会について】

◇「地域や社会をよくするために何かしたいと思いますか」の質問事項へ肯定的な回答割合は全国値を上回っている。

◆「普段（月曜日～金曜日）1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか」の質問項目に4時間以上と回答した割合は全国値を上回っている。

「学校の授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」の質問項目での勉強時間は全国値を下回っている。

### 3. 今後の取り組み

本校では、全学年で朝学習の時間に学力向上に取り組み、国語・算数・外国語の基礎・基本学習と読書や読み聞かせを行っています。また、今年度より研究テーマを『主体的・協働的に学ぶ児童の育成』～生活科・総合的な学習の時間～とし、研究に取り組んでいます。国語・算数等各教科の見方考え方を活用していく過程で、子どもたちは実際の社会や日常生活の中でも活かされる資質や能力を身につけていくと考えています。また、各教科を学ぶ意味、学習することの意義を感じられることにもつながることが期待されますので、引き続き取り組んでまいります。

パソコン・タブレット端末などの ICT 機器を活用することで、「すぐにわからないことを調べることができる」「楽しみながら学習ができる」と回答した児童は全国値とほぼ同じで 9 割を占めています。一方で、「自分のペースで理解しながら学習を進めること」への肯定的な回答は全国値を下回っている、さらに、SNS や動画視聴の時間が 4 時間を超える児童が全国値を上回っている、という実態が見られます。学校の授業時間以外にも、学習する機会や時間を増やせるように ICT 端末を授業の中で効果的に活用し、自分の考えを表現することや組み立てを工夫して発表するための「道具」として使っていくことを推進していきます。

ご家庭におかれましても、日頃から子ども自身が主体的に活躍できる役割を家庭の中で与えたり場を設けたりと積極的に子どもの行動に目を向け、良さを認めることで子どもの自己肯定感や自己有用感を高めていけるよう関わっていただいていると思います。今後とも、ご家庭と学校がしっかり連携しながら子どもたちの学力向上に向けて取り組んでまいりたいと思います。保護者の皆様には、引き続きご協力をお願いいたします。